

平成26年度 第7回 緩和ケア講演会のご報告

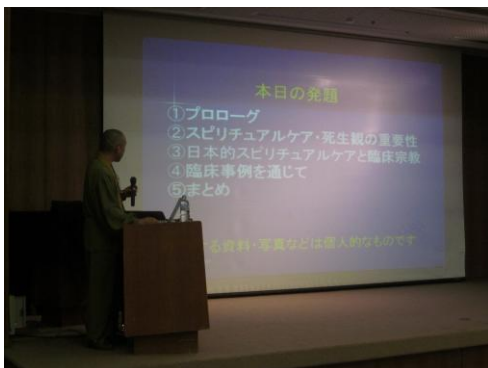
今年度の第7回講演会を12月11日に開催いたしました。出席人数は69名、うち、院内41名、院外28名で、寒い中大変多くの方に参加していただくことができました。

今年度の年間テーマは「緩和ケアにおける各種スキル ～地域における各職種のプロに学ぶ～」です。第7回目の今回は「スピリチュアルケア」について、飛騨千光寺住職の大下大圓先生にご講演いただきました。大下先生は、自らボランティアとして病院で患者さんと関わることを始めたそうです。痛みなどの不安、いずれ訪れる家族・大切な人との別れ、死後の自分・・・など患者さんの持つ苦しみを傾聴し、生死を歩む人の「今」に寄り添うことが大切だと学びました。

アンケートのコメントの紹介

- ・縁や絆、日本人の感覚を大切にしていくこと、終末期に死を生きる人々の苦悩をもう少し深く“聞く、聴く、効く、訊く”関わりが必要とされていることを学んだ。
- ・「死にたい」と言っていた患者さんが関わることによって、「生きててよかった」と発言されることがある。患者さんの心の奥にある本音を聞いてあげたいな・・・と思った。
- ・いろいろと考えるきっかけになった。「宗教性を必要としないスピリチュアルケア」を勉強してみたいと思った。
- ・今の自分にできること・・・、関わった人に寄り添おうかなと思えた。自分のエンディングノートを作ってみたいと思った。

講演会の様子



ご質問・ご意見ありがとうございました。今後もしどしご意見をお寄せ下さい。

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

地域医療連携センター FAX: 0572-22-7948 緩和ケア内科 Mail: kanwa@tajimi-hospital.jp